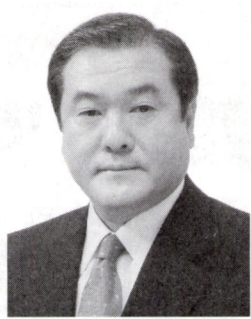




発行所
鯉 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田2丁目2番5号
光正ビル6階
電話 03 (3256) 1981
FAX 03 (3256) 1982
E-mail: mizuuro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動



財団法人 漁船海難遺児育英会

理事長 鈴木俊一

新年明けましておめでとうござ
います。皆さまには健やかに新年
を迎えられたこととお慶び申し上
げます。

昨年来、急激な燃油価格の高騰
が続き、漁業者をはじめとしたわ
が国水産業界にとって誠に深刻な
影響を与えております。また、こ
の影響は暖房費をはじめさまざま
な製品の値上げなどで消費者にも
広がっております。こうした中で
はありましたが、日ごろから漁船
海難遺児育英事業をご支援いただ
いております皆さま方には、昨年
も変わることなく格別のご支援を
賜り誠にありがたく厚くお礼申し
上げます。

この認定には法律の施行から五
年間という期間が設けられており
ますが、本会も遅滞なく認定を目
指すところであります。また、こう
した改革の時をとらえて、事業内容
の一層の充実を図っていくことも考
えております。

奨学生数の推移をみますと漁業
者の少子高齢化などの影響から、
十年前と比較してその数は半分に
下となっております。一方で、教育
費などに対する本会奨学金の充足
率は上級学校になるほど、いまだ
十分なものとは言えない状態にあ
ります。皆さまから託されたご厚
志を海難遺児・遺族のために役立
てていく、この基本的な使命を全
うするために一層の努力をする所
存です。何とぞ、皆さま方の暖か
いご支援・ご協力を引き続き賜り
ますようお願い申し上げます。

奨学生の皆さまにおかれまして
は、進学・就職を控え希望に満ち
た年明けを迎えられた方も多いこ
う心からお祈り申し上げます。



漁船海難遺児を励ます全国協議会

会長 服部郁弘

あけましておめでとうございま
す。日ごろより漁船海難遺児育英
事業の推進につきまして、常々
格別のご協力を賜り厚くお礼申し
上げます。

と存じます。新しいこの一年を
健康に気をつけ、実り多き年とし
てくださいます。

最後に、皆さま方の益々のご発



全国漁協女性部連絡協議会

会長理事 尾山春枝



新年明けましておめでとうござ
います。

皆さまにはさすがしく、平成
二十年の新春をお迎えのことと、
心からお慶び申し上げます。

また、運動・勉学をはじめ家業
の手伝いなどに励まれている奨学
生の皆さんとご家族にとりまして
は、本年が明るい年となりますよ
う心からお祈り申し上げます。

しかしながら、十万という得票

した。これまでの皆さまのご支援
ご協力に對しまして心から感謝申
し上げます。

ご高承のとおり、原油価格は驚
異的な高騰を続けており、漁業者
の経営危機は一層深刻化しており
ます。産地では操業の短縮や操業
そのものを見合わせている状況
で、このままでは、漁業経営や地
域経済への影響、水産物の安定供
給にも問題が出てきており、併せ
て石油製品の網やロープなど漁具
や各種資材類などにも影響が出て
きております。JFグループでは、
昨年十二月十三日、全国から七百
人が集まり「漁業経営危機突破」
【全国漁業代表者集会】を開催し、
窮状を訴えると同時に政府国会等
に要請行動を実施したところで
あります。

このように、現下の厳しい漁業
情勢を踏まえ、平成十九年度補正
にも拘わらず、大変残念な結果に
なってしまうましたが、私たち漁
業者の支援活動は、JFグループ
に集う結束力を広くアピールし、
その重要性を再認識する結果をも
たらしたのではないのでしょうか。

是非、奨学生の皆さんも、「浜
のお母さん」と一緒に、周囲のか
たがたへライフジャケット着用
のお声掛けをしていただき、安全確
保による海難事故防止に取り組ん
でください。

是非、奨学生の皆さんも、「浜
のお母さん」と一緒に、周囲のか
たがたへライフジャケット着用
のお声掛けをしていただき、安全確
保による海難事故防止に取り組ん
でください。

さて、本年は、一人乗りの小型
船舶ではありますが、規制が改正
され、四月からライフジャケット
着用が全面義務化されます。

漁協女性部では、長年、ライフ
ジャケットの着用推進を図ってき
たところでありますが、今後とも、
安全操業へ向け着用率百パーセン
トを目指した活動を推進していき
たいと思っております。



第27回 全国豊かな海づくり大会

十一月十日(土)・十一日(日)の二日間、「この湖を 守る約束 未来のために」をテーマに、『第二十七回全国豊かな海づくり大会』(豊かな海づくり大会推進委員会・第二十七回全国豊かな海づくり大会滋賀県実行委員会主催)が、天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、日本最大の湖・琵琶湖が広がる滋賀県大津市にて盛大に開催されました。

この大会は、魚や貝などの水産資源の維持培養とそれらの生物が住む海や湖の環境保全に対する意識を高めるために、昭和五十六年から毎年海のある都道府県で開催されてきました。内水面(琵琶湖は漁業法上、海として取り扱われています)では初めてとなる今大会では、漁業振興はもちろんのこと、外来魚やカワウの増加、水草の異常繁殖などさまざまな問題を抱えた琵琶湖の厳しい現状を訴え

とともに、本来の豊かで美しい湖を取り戻すための持続的な活動の推進を参加者全員で誓い合いました。

なお、本会においては、今年も式典およびイベント会場内にて水色の羽根募金活動を実施致しました。今回は、本会育英事業にご賛同くださった日本ボーイスカウト滋賀連盟ならびに(社)ガールスカウト日本連盟滋賀県支部の皆さん(両団長・団員・保護者ら総勢約百三十人)のご協力もあり、両日の午前と午後、計四回にわたり募金の呼び掛けを行うことができた。会場を訪れた皆さまよりたくさんのご支援を頂くことができました。大会主催者はじめ、活動にご協力いただいた多くの皆さまに心より感謝申し上げます。



二十年九月六日(土)・七日(日)に新潟県新潟市で開催される予定です。お近くにお住まいの方はぜひ足をお運びください。

※詳細は左記の大会専用ホームページをご覧ください。
<http://www.wanouni.net/>

第五十九回 全国漁港漁場大会

た。

本会は、日ごろより育英事業の窓口としてお世話になっているJF富山漁連女性職員のかたがたとともに、会場内・ロビーにて募金活動を行い、来場された皆さまより多大なるご支援を賜うことができました。

大会主催者である(社)全国漁港漁場協会のご厚意に感謝申し上げますとともに、募金にご協力いただきました多くの皆さまにお礼申し上げます。



JF 沖縄漁連
第15回チャリティーコンペ開催

JF 沖縄漁連（下地敏彦会長）は昨年九月二十七日（木）、沖縄県恩納村の沖縄国際ゴルフ倶楽部で恒例のチャリティーゴルフコンペ大会を開催した。漁船海難遺児育英資金造成を目的に県下JFグループをはじめ関係機関の役員に呼び掛けて行われる本大会は、

平成十九年度

全国担当者会議

十一月二十九日（木）、東京都千代田区コープビルにおいて『平成十九年度 全国育英事業事務担当者会議』が開催されました。

三年ぶりの開催となった本会議には、日ごろから育英事業にご協力いただいている各都道府県漁船海難遺児を励ます地方協議会事務局担当職員の皆さん十九人、全国協議会ならびにJF全国女性連事務局長のJF全漁連漁政国際部部長市村隆紀氏、同部次長道下善明氏が出席し、次の議題について熱心な討議を交わされ、今後も育英事業の充実に努めることを確認しました。

〈議事次第〉

- 一、育英事業事務手続きについて
- 二、事業概況と今後の課題について
- 三、滞納対策について
- 四、その他
- ①ゆび募金について
- ②本会への寄付について
- ③（参考）漁船海難及び海中転落による死亡・行方不明者数の推移

今年度で十五回目を迎え、記念大会との位置づけで約四百人の参加者を得て盛大に行われた。

表彰式で大会収益金（目録）の贈呈を受けた本会佐藤信三専務理事は、当チャリティーコンペが十五回の歴史の中で多額の寄付を賜ってきたことにお礼を述べるとともに、「ご寄付は海難遺児の育英事業のために大切に活用させていただきます」と挨拶した。



奨学生未申請者は
いませんか？

年が改まりますとすぐに入学・進学シーズンを迎えます。新年度の手続きにつきましては、別途お知らせいたしますが、海難遺児（奨学生対象者）でいまだ本会奨学生となっていない方はいませんか？万一、地域にそのような方がおられましたら、本会またはよりのJF漁連等窓口へお知らせください。そのほかお問い合わせは本会（〇三・三二五六・一九八一）まで。

平成十九年度
第三回評議員会・理事会

去る十二月十二日（水）、『平成十九年度第三回評議員会』ならびに『理事会』を東京都千代田区のコープビルで開催しました。評議員会では十二月二十日をもつて任期満了となる理事・監事の選任が行われました。その結果、

新たに島宮道男氏（全国高等学校長協会会長）が理事に就任したほか、現行の理事十七人と監事二人が再任されました。

引き続き開催した理事会においては役員の互選が行われ、鈴木俊一理事長、服部郁弘副理事長、佐藤信三専務理事が再任されました。また、評議員の辞任に伴う補欠選任を行い、上野朝雄氏（全日本海員組合広報室長）を新たに選



第六回

明けましておめでとうございます。本年も、たより共々このコーナーもご愛読をよろしくお願い申し上げます。

「平成二十年」第一回目は、気を引き締めていこう！という気持ちを表し、まじめなお話で始めたいと思います。

本会では年に四回育英会だより（以後「たより」）を発行していますが、最近お手元に届く封筒の変化にお気づきでしょうか？今回は、たよりに掛かる経費について、大まかにご紹介したいと思います。

本会では一回で約二千五百部発行しています。ここでも、發送時に使用する封筒ですが、三年分を一度に印刷し、これにより封筒一枚あたり二枚ロルチヨコレット（※一）相当の額に抑えられます。大量に印刷したことにより、心配になるのが保管料ですが、業者のご厚意により無料になっております。次に發送ですが、委託業者を利用し、PDM郵便發送システム（※二）で定形・定形外関係なく、重量五百グラムまでは、一通あたりハガキの郵送料強の額で發送しています。尚、平成十八年度より封筒が大きくなったのは、前文の同額料金で折料を減らすことにより、さらに経費削減をしたためです。エコロジーな世の中に大きい封筒に変更し、受取る皆さまにはご不便などお掛けしていると思いますが、今後の課題として解決していきたいと思っておりますので、ご指導・ご協力をお願いします。（k）

※一 チロルチヨコレット：駄菓子やコンビニなどで販売している（お子さん・お孫さんはご存知だと思います）。

※二 PDM郵便發送システム：發送業者の会社名を封筒に印字することにより郵便事業（株）の「冊子小包大口割引」を利用できる。

任しました。

鈴木理事長は会議の終わりにあたり、「次の二年間の任期中には、新公益法人制度への対応や本会の今後の運営について具体的な方向付けが行われる重要な時期と認識している。引き続き皆さまのご協力を賜りたい」と挨拶した。

今期をもって退任された理事ならびに辞任された評議員におかれは、これまでのご尽力に改めて感謝の意を表します。

平成十九年度

第三回奨学生選考委員会

十月二十六日（金）、『平成十九年度第三回奨学生選考委員会』が開催され、『第三回奨学生出願者（十月十五日締切り）の選考』について審議されました。この結果、新たに小学校在学の学資給与奨学生一人の採用が決定しました。

なお、前年度からの継続奨学生と併せて、新規奨学生を加えた十二月十五日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」のとおりです。

保護者からのお便り

※おかげさまで娘の卒業まであと三ヶ月となりました。就職先も内定し、口述を受けるのみです。

（北海道 奈良栄子）
※毎月このお金で助かっています。ありがとうございます。

（青森県 田中京子）

※いつもありがとうございます。息子が大学の部活のキャプテンとアルバイトに頑張ってます。

※早いもので、もう娘も就職活動に入りました。親元を離れるつも

りのようであつと寂しいですが……。

（石川県 櫻井三重子）

※いつもお世話になっております。おかげさまで就職も決まり、後は、国家試験を残すだけになり息子も頑張っております。

（熊本県 岡村つねこ）

奨学資金で寄付のお礼

平成十八年十二月から平成十九年十一月までの間に、ご寄付を頂いた皆さまのご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

※ご芳名（敬称略）

- ◎北海道▽加藤茂子▽佐藤俱子▽本間雅彦◎宮城県▽鎌内浩◎秋田県▽山岸剛◎茨城県▽大島登▽水谷◎埼玉県▽稲垣友三郎▽小野▽金木愛子▽神山幸士▽田口昭博▽橋爪政男▽松本安裕▽村田奇一▽森安良◎千葉県▽伊賀久則▽市村隆紀▽岩崎昌子▽大西絹子▽大類裕久▽釜田朝▽斎藤信夫▽齋藤雅晴▽坂口はつ子▽新藏敏彦▽杉浦正悟▽中前明▽平田淳一▽福田昌佳▽若林満◎東京都▽飯島孝夫▽五十嵐悦子▽石坂和泉▽石田浩▽小川渉▽落合昭男▽影山智将▽勝野輝美▽勝野ハナ子▽岸野昭雄▽工藤文子▽黒沼なをみ▽榎光洋▽取締役会長江刺富美子▽古田圭満▽重義行▽白井久子▽白須敏朗▽竹谷廣之▽照山光一▽戸田満弘▽根尾友久▽根本京子▽橋本牧▽春田孝二◎朝子▽栃木県▽平野文▽廣江志賀子▽廣重和夫▽福田濱子▽星野正一▽三橋宏次▽宮原邦之▽向井昌子▽吉田博身▽山田修路▽渡辺千鶴子◎神奈川県▽浅倉寛▽越智豊子▽佐藤憲雄▽佐

藤正敏▽千倉陸男▽浜喜水産(株)代
紛取締役太田昌三▽濱谷稔夫・小
百合▽松井エイ子▽山下潤▽大和
陸子◎愛知県▽大内輝夫・恵子▽
野々山均◎福岡県▽高橋正顕▽武
田忠男◎京都府▽塩見英世◎大阪
府▽角丸英子▽道本孝治◎兵庫県
▽武田佳子▽信原稔信▽古市正行
◎高知県▽浜谷まり◎長崎県▽寺
島和子◎大分県▽中嶋一太▽山口
英文

育英基金

『募金・ご寄付』のお礼

平成十九年九月から十一月まで
にご寄付を頂いた皆さまのご芳名
を掲げ、厚くお礼申し上げます。

※ご芳名(敬称略)

一、漁協系統募金(各都道府県の
漁連、信漁連等で構成する「漁船
海難遺児を励ます地方協議会(略
称・地方協)」などで取り扱った
分を含みます。)

〔九月〕◎北海道▽小樽地区漁業
協同組合女性部連絡協議会▽野村
和成◎青森県▽地方協◎富山県▽
魚崎忠雄◎香川県▽服部会長祝賀
会事務局◎福岡県▽黒木正弘▽田
志正弘◎長崎県▽藤原定行▽香典
返し

〔十月〕◎青森県▽県豊かな海づ
くり大会実行委員会◎宮城県▽ビ
クターレコード小野寺たつえ◎富
山県▽高島高志▽地方協◎全国漁
港漁場大会募金◎和歌山県▽田中
洋行▽香典返し▽小林善久▽香典
返し◎山口県▽岡野ヤスヨ▽県漁
協漁船海難遺児募金チャリティー
ゴルフ大会▽地方協◎鹿児島県▽
いちき串木野づくし産業祭り水産
イベント部会▽県機船曳網漁業
者協議会▽串木野まぐろフェステ

イバル実行委員会▽原口欣一▽地
方協

〔十一月〕◎北海道▽北島哲夫▽
地方協◎青森県▽丸本末義▽県
山・川・海の感謝祭実行委員会◎
宮城県▽石巻歌謡アカデミー会主
武田つとむ▽渡波水産加工業協同
組合◎富山県▽松野均◎愛知県▽
菅沼光則◎三重県▽岩戸館▽木村
三郎▽中西悦子・亜衣▽香典返し
▽三谷勝次◎京都府▽嵯峨英明▽
香典返し◎和歌山県▽東禮次◎香
川県▽波柴耕三▽香典返し◎大分
県▽県漁業士連絡協議会▽県水産
振興祭実行委員会▽県水産養殖協
議会青年部◎沖縄県▽沖縄塩元売
(株)／沖縄砂利採取事業協同組合／
沖縄電力(株)／(有)協同化工／県漁業
協同組合長会／金秀商事(株)／新日
本海事(株)／東亜海事(有)／(株)東邦／
友平衛生社(有)／(合)那覇王冠製
作所／那覇地区船主会／港川漁業
振興会／睦船主組合／ヤンマー沖
縄／地方協／チャリティーゴルフ

二、一般寄付

〔九月〕◎青森県▽大山チセ◎岩
手県▽三陸沿岸芸能振興会々々長奥
泉雲城▽海の日カラオケ大会募金
◎宮城県▽匿名◎埼玉県▽小野沢
通▽富元克昌◎千葉県▽飯村久子
◎東京都▽コダマキミオ▽出塚清
志◎京都府▽中上清吾◎鳥取県▽
浜野茂夫◎岡山県▽吉田厚子◎高
知県▽山本光博◎鹿児島県▽富元
小松

〔十月〕◎北海道▽道南地区海員
スポーツイベント・平成十九年度
秋季海員健康チャリティーゴルフ
コンペ参加者▽おじモニ杯チャリ
ティーソフトボール大会▽函館地
域食品商業活性化協議会◎宮城県
▽女川町立女川第二小学校六年生
御一同▽全日海東北地方支部經由

▽匿名◎茨城県▽匿名◎栃木県▽
横尾祥子◎埼玉県▽小野沢通▽富
元克昌◎千葉県▽飯村久子◎東京
都▽榎本みづ枝◎京都府▽中上清
吾◎鳥取県▽浜野茂夫◎岡山県▽
吉田厚子◎広島県▽ビューポート
くれチャリティーコンサート◎福
岡県▽池田正二◎宮崎県▽(有)華
想／川添洋子／キリンビバレッジ
(株)／(有)中西興業／日南市漁協女性
部加工グループ／ネオス(株)／バイ
ハウス／プリムローズ／南九州コ
カ・コーラボトリング(株) ジャパ
ンカインドネス協会経由・ゆび募

金◎鹿児島県▽富元小松
〔十一月〕◎宮城県▽匿名◎茨城
県▽匿名◎埼玉県▽小野沢通▽富
元克昌◎千葉県▽飯村久子▽佐原
芳隆◎東京都▽水産講習所遠洋漁
業科第十二期生徒会▽(社)海洋水産
システム協会▽明治大学付属中野
八王子中学校・高校生生徒会福祉委
員会▽校内募金▽全国豊かな海づ
くり大会募金(滋賀県・大津市に
て開催)▽匿名◎新潟県▽海洋高
等学校生徒会◎京都府▽中上清吾
◎兵庫県▽古野清賢◎鳥取県▽浜
野茂夫◎島根県▽浜田水産高等学

校生徒会◎岡山県▽吉田厚子◎広
島県▽小林宏◎大分県▽山本浩◎
宮崎県▽宮崎海洋高等学校校長岡
林勝洋◎鹿児島県▽富元小松

編集後記

スタッフ一同、謹んで新年のご
祝詞を申し上げます。本年もよろ
しくお願い致します。

▼本会育英事業を支えていただい
ている皆さまへの感謝の気持ちを
大事にし、奨学生の励みとなる育
英事業を推進していきます。(佐藤)

▼年末に、本会が十周年を記念し

て制作した映画を見る機会を得ま
した。原点に立ち振り返り頑張りた
いと感じています。(小林)

▼「初心を忘れず」今年も一年頑
張ります。(梶山)

▼大好きなお酒をやめずにダイエ
ットを成功させるぞ。(高橋)

▼今年は、本紙上などで奨学生や
保護者の皆さんともっと交流でき
たらいいなあと思っています。個
人的には「肉体改造」に励みたい
です。(三上)

都道府県別奨学生数

(平成19年12月15日現在)

都道府県名	給 与 奨 学 生					貸 与 奨 学 生				合計(実数)	平成19年度第3回採用者						合計(実数)
	幼児	小学生	中学生	高校生等	小計	高校生等	大学生等	小計	幼児		小学生	中学生	高校生等 給与	高校生等 貸与	大学生等		
北 海 道	1	19	23	17	60	1	4	5	65(64)		1					1(1)	
青 森		4	2	1	7		3	3	10(10)								
岩 手	1	4	4	6	15	3	2	5	20(17)							()	
宮 城	1	7	5	8	21				21(21)								
秋 田																	
山 形		1			1				1(1)								
福 島		1	1	1	3				3(3)								
茨 城				1	1		1	1	2(2)								
千 葉	2	4	6	2	14				14(14)								
東 京		2	1	1	4		2	2	6(6)								
神 奈 川																	
新 潟	1	1	1	1	4				4(4)								
富 山																	
石 川		2			2		2	2	4(4)								
静 岡		1	1	2	4				4(4)								
愛 知							1	1	1(1)								
福 井																	
三 重				1	1				1(1)								
京 都				1	1				1(1)								
大 阪			2	1	3				3(3)								
兵 庫		6	2	7	15		5	5	20(20)								
和 歌 山				2	2				2(2)								
鳥 取		1	2	3	6				6(6)								
島 根		1	4	4	9				9(9)								
岡 山		2			2				2(2)								
広 島			2		2		1	1	3(3)								
山 口		4	2	5	11	1	2	3	14(13)								
徳 島			2	5	7				7(7)								
香 川		1	1	1	3		2	2	5(5)								
愛 媛	1	4	5	3	13	2		2	15(13)								
高 知			6	1	7		2	2	9(9)								
福 岡	1	2	1	1	5				5(5)								
福岡有明海																	
佐賀玄海																	
佐賀有明海			1	1	2				2(2)								
長 崎	1	3	4	7	15	2	2	4	19(17)								
大 分		2	1	2	5		2	2	7(7)								
熊 本	1		2	2	5		1	1	6(6)								
宮 崎		5	3	7	15	3		3	18(15)								
鹿 児 島		6	1	5	12		2	2	14(14)								
沖 縄		4	2	3	9	2	1	3	12(10)								
合 計	10	87	87	102	286	14	35	49	335(321)		1					1(1)	

*給与奨学生の高校生等には養護児を含む。
*貸与奨学生には入学一時金などの奨学生を含む。
*休学中の奨学生は人数に含まない。
*高校生等貸与奨学生は給与併願者であるため、合計欄には奨学生実数を()で表示した。
*平成19年度第3回採用者は内数である。